

広報きたやま

2022

KITAYAMA 1

NO.253

マラソン大会
一生懸命走りました



歴史に学び、 成長を遂げる

北山村長 山口 賢二

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、お元気で令和4年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響も新型株の出現によりまだまだ色濃い一方、緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の広がりなど感染症との戦いは明るい兆しが見え始めていくようにも思われます。このまま収束することを願い、引き続き感染症拡大の防止に御協力頂きますようお願いいたします。

さて、昨年を振り返ってみますと、なんととってもスポーツ選手の活躍が目覚ましい一年だったのではないでしょ

うか。開催までには様々な波乱がありました。終わってみればオリンピックで金27個、銀14個、銅17個の計58個、パラリンピックで金13個、銀15個、銅23個の計51個という歴史的な記録を残した大会となりました。また、海外に目を向けるとメジャーリーグで投打二刀流の大躍進を見せた大谷翔平選手には、早くも来シーズンの活躍を期待してまいります。

一方で、またしても災害による被害の多い年でもありました。東日本大震災から10年を目前に起きた2月の福島県沖での地震、7月8月には集中豪雨が続き、熱海での土石流や九州、北陸をはじめとする各地で河川の氾濫が相次ぎました。新型コロナウイルスは変異株が猛威を振るい、不自由な生活を強いられた方も多かったのではないのでしょうか。

こうした災害や感染症との戦いは、日本のみならず世界で過去幾度となく繰り返されてきました。ローマ帝国のポンペイを灰に埋めたベスヴィオ火山の噴火、四千万人以上が亡くなったと推定されているスペインかぜなど、枚挙にいとまはありません。しかし、そうした戦いの末、人類は発展を繰り返してきました。経験や歴史の積み重ねにより、対応を学び、備え、そして勝利する。スポーツの世界とも通じるものなの

ではないでしょうか。

北山村では昨年、将来を見据えた長期計画の策定、防災への備えを新たなものにする地域防災計画の改定に取り組んでまいりました。賢者は歴史に学ぶと言います。北山村を取り巻く歴史を学び、これからの時代に対応し、村の発展と村民の皆様が安全安心に暮らすことのできる地域を創るために種々の施策に積極的に取り組んでまいっている決意であります。職員一同力を合わせて頑張ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

おわりに、新年が皆様にとって希望に満ちた良い年となることを心から願い、皆様のおすすめのご繁栄とご多幸を御祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



北山村長 山口 賢二

謹賀新年

三刀流で翔け

北山村議会議長
久保 學

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

本村議会に対しましても日頃からお寄せ頂いておりますご支援とご協力に対し、議会議員一同、深く感謝を申し上げる次第です。昨年の十二月定例会では議会構成も変わり、「不動心」、「気剣体の一致」「守破離」、新たな気持ちで務めさせていただきまので、皆様どうぞよろしく願ひいたします。

さて、昨年を振り返りますと、コロナ禍の拡大という社会情勢の中、非常に厳しい議会運営を迫られていましたが、ワクチンの接種が進み、コロナ感染者が抑えられて経済活動も再開してくる中、だんだんと議会活動も活発に行えるようになってきました。海外をみると変異株による感染が拡大しており、日本でも、年末年始の人流によりオミクロン株の市中感染が広がりを見えています。

日本は海外に比べ衛生状態がよいと言われている。日本のトイレなどの衛生環境もさることながら、日本人は衛生に対する意識が高く、普段からの手洗い、うがいをする人が多く、さらに学校教育

でも低学年の時期から衛生的な指導をしていることもあり、国民全体に衛生に対する意識がいきわたっています。このような日本の教育、文化、衛生に対する意識は誇れるものであり、海外に向けて発信していくべきと思います。

世界の誇り

また、昨年はメジャーリーグの大谷翔平選手がピッチャーとバッターの二刀流で大活躍しました。投げては九勝二敗、百五十六奪三振、打ってはランキング三位の四十六本塁打と、素晴らしい成績を残しました。しかし、私としては、何よりも嬉しいのは、彼の礼儀正しさやゴミを拾う姿が世界で称賛されたことです。大谷選手は日頃から野球の道具を大切に扱い、試合中は審判や相手チームに対しても礼儀正しい態度で接し、ゴミ拾いや掃除などを率先してやっていることなどが注目され、日本の教育、文化が世界に評価されました。海外のメディアでは、大谷選手のこのような振る舞いを「日本の文化のすばらしさ」と絶賛して報じられたことは、日本人として何よりの喜びであり、誇りに思います。

日本の誇り

日本では智辯和歌山が、高校野球で全国制覇を成し遂げた時も、グラウンド内では喜ばず、ベンチに帰ってから喜びました。私はその相手校を敬う心が素晴らしいと思います。

北山村の誇り

誇りといえば、北山村の誇りである「観光筏下り」。現在、村では、観光筏下りを修学旅行に利用してもらおうと県内、県外の小中学校に対してPR活動を行っており、昨年は何校かの生徒たちに観光筏下りを体験していただいたり、学校教育では飛び地、じゃばらとともに、数年前から社会科の教科書に取り上げられています。小さな村なのに、三つの項目で教科書に取り上げられている村であることは、教科書が使用された学校の生徒に対しての認知度の向上につながり、村のイメージアップにもなっています。今年は「全国唯一の飛び地の村」、「じゃばらの里」、「筏の村」の三刀流で観光立村として翔（はば）たくなりたいものです。

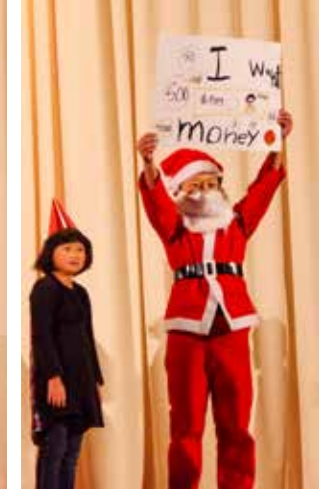
飛び地



筏下りとじゃばら



北山村長 山口 賢二



保育所・小中学校発表会



新型コロナワクチン接種

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した場合であっても、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。このことから、国では新型コロナワクチンの3回目接種（追加接種）の必要があると結論付けました。

北山村では3回目のワクチン接種を令和4年2月中旬より開始する予定です。詳しくは1月下旬に各家庭に配布する予定です。

また、新型コロナワクチンを1回も接種していない方も、接種可能ですので、接種の希望がございましたら住民福祉課までお問い合わせください。



健康づくりのための締結

12月11日（土）動脈硬化健診を実施しているヘルスプロモーション研究センターと北山村で「高血圧ゼロのまちづくり事業 連携・協力に関する覚書」が締結されました。令和4年から『じゃばらと筏の村でいつまでも元気に暮らそう～全国唯一の飛び地「北山村」高血圧ゼロのまちプロジェクト』を始動するにあたって、相互に連携・協力を行っていきます。一人ひとりが自己の健康を把握して、健康づくりの意識向上を目指しましょう！



調印式の様子

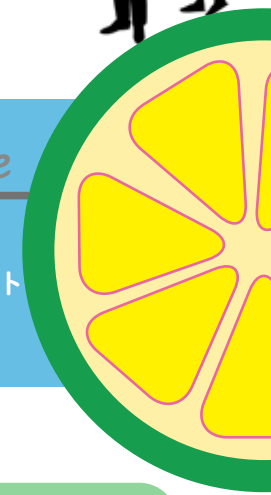


内川先生・山崎保健師・栗栖保健師の

健康講座

Health Course

- ・ 新型コロナウイルスワクチン
- ・ 高血圧ゼロのまちプロジェクト
- ・ メディア教育



子育て世代のメディア教育

11月12日（金）小中学校で「メディアと生活」について授業を行いました。東京医療保健大学の内海みよ子先生が来てくださり、メディアが生活に及ぼす影響についてみんなで学びました。子どもたちは自分の生活習慣を見直す良いきっかけになったと思います。その日の夜、中学生までの子どもがいる家族を対象に「北山村子どもと家族の交流&学習会」を開催しました。小中学生がその日に学校で学んだ内容を保護者にも学んでもらえたことで、家族みんなでメディアとの付き合い方を考えるいい機会になりました。夜の部の講師

も内海みよ子先生が担当してくださり、質疑応答も充実し良い学びになりました。最後に参加者全員でビンゴゲームをして、子どもも家族も全員が楽しめたイベントになりました。



メディア教育の様子



北山村の伝統料理を残そう

南紀熊野ジオパーク活動の一環として行われている「ジオ興（おこ）し活動」として、村の伝統料理を作り試食が行われました。

下尾井の久保岡徳美さん宅で、久保岡さんを中心に多くの伝統料理を作りました。豆乳からゴマのペーストなどを混ぜてごま豆腐や、じゃばらをく



作業をする久保岡さん

り抜いて絞った果汁に大根などを混ぜてなます、サンマ寿司、昆布巻きの寿司や、手作りこんにゃくやめはり寿司などたくさんの郷土料理を作っていただきました。

各料理のレシピにつきましては、今後の広報で紹介していきたいと思っておりますので楽しみにしてください。



北山村歴史シリーズ

庚申様

庚申の日とは1年に6回ある。干支の庚（かのえ）と申（さる）の組み合わせだった日のことです。

庚申信仰は、中国の道教の教えが、平安時代に伝わったものとされ、歴史を経て、民間信仰に結びついたとされています。



北山村の歴史を学ぼう！

北山村においても信仰を物語る記念碑である庚申塚が各地に残っています。今なお民間信仰が伝承されています。それは何か物を紛失したり盗難にあったとき、自分で縛った縄を庚申様にしばりつけて、「見つけてきてくれたら解いてあげる」といって拝むと、そのものが発見されたり、返されてくるというものです。村内でも縄をかけられた庚申様を時々見かけます。

もし現在物を紛失している人がいたら一度縄を庚申様に結び拝んでみてはいかがでしょうか。

- 1、大沼の庚申様 2、下尾井の庚申様
3、七色の庚申様 4、竹原の庚申様

じゃばらと筏の村でいつまでも元気に暮らそう

全国唯一の飛び地「北山村」

高血圧ゼロのまちプロジェクト

をスタートします！



事業内容

健康状態の重要な指標である「高血圧」に注目して、村民全員が自己の健康を把握し、健康づくりへの意識向上を目指します！

①

血圧の測定

全村民対象

村民・通勤者が各自で血圧を測定
結果は分析してお返しします。



②

自分と家族の健康を考える

小中学生対象

血圧測定、健康教育への参加で
自分と家族の健康に興味を持ってもらう



③

健診を利用して健康状態を把握

全村民対象

動脈硬化健診及び特定健康診査を受診して、自分の健康状態を数値で知る



④

健康づくり教室への参加

全村民対象

運動や食事と血圧の関係性を積極的に学ぶ



事業の対象者

小学5年生以上の北山村に住んでいる人、
北山村で働いている人
詳しい内容については今後、個別にご案内しますのでお待ちください。

〇お問い合わせ先
北山村役場 住民福祉課
☎0735-49-2331

ナース章

診療所で勤務していただいている市村妙子さんが、長年、看護職員として勤務し、看護業務の向上発展に多大の貢献された方に贈られる、ナース章を和歌山県知事から贈られました。おめでとうございます。これからも村民のためによろしくお願いいたします。



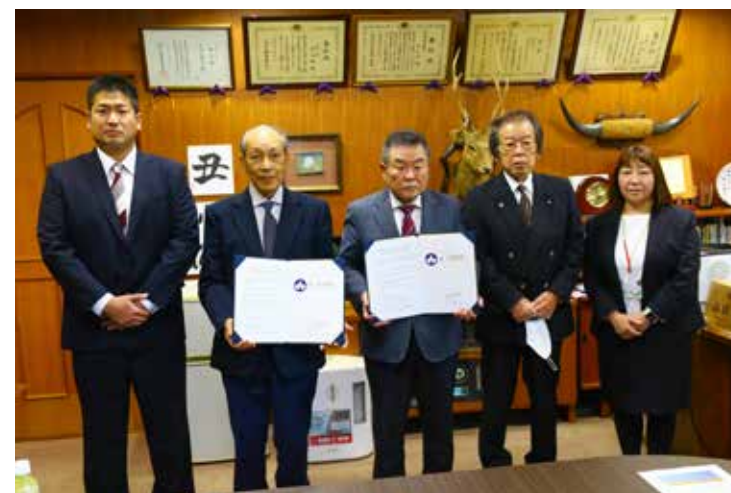
農協からの寄付

みくまの農業協同組合様より、車いす、簡易ベッド、救急箱等の災害用の備蓄物資と学校用電子黒板をご寄付いただきました。頂いた備蓄物資については、各区民会館等に保管し災害時に、黒板は学校で活用させていただきます。



高血圧ゼロのまちづくり 連携・協力の締結式

疾病予防や健康増進に向けた事業を通じて、北山村が推進する「じゃばらと筏の村でいつまでも元気に暮らす」ことを達成するためにNPO法人ヘルスプロモーション研究センターと連携・協力の締結を行いました。



サンタがおうちにやってきた

子どもクラブ・北山村青年会が主催で、12月17日に、村内の子どもがいる家庭に、サンタクロースやじゃばらライダーが訪問し、子どもたちにクリスマスプレゼントを渡しました。突然の訪問に子ども達は、嬉しそうにプレゼントをもらいました。



消防表彰伝達式

役場で消防表彰伝達式が行われました。10年表彰を受けたのは第二分団より山本亮さん、第三分団より所和宏さん・杉本悠太さんの3名が表彰されました。また昨年退団された元消防団長の中瀬古武雄さんには感謝状と記念品が贈られました。



じゃばらの里の収穫祭 紀の国わかやま文化祭

今年はコロナウイルス感染症予防の関係で例年より規模を縮小して行われました。三村フェスタのイベントと同時に、じゃばら商品の販売、じゃばらの収穫、子供向けのゲームやおくろ温泉での魚の販売等があり、多くの村民の方にお越しいただき、楽しんでいただきました。





じゃばらの里の収穫祭



マラソン大会



太地小学校との交流



交通安全教室



ママカフェクリスマス会



保育所クリスマス会



北山村の子どもたち

法務局からのお知らせ

ご存じですか、

自筆証書遺言書保管制度

高齢の父が亡くなり、残された子供二人（兄妹）が遺産の分割で言い争いになりました。
東京で暮らす妹は「実家の土地建物や田畑は兄さんに譲る代わりに預貯金全部を私がいただくわ」と主張しますが、実家に暮らす兄は「田畑の管理は大変で相続するだけ大赤字なのに預貯金も私が相続しないと割に合わない」と一歩も譲りません。
こんなときに亡くなられた父の遺言書があれば、大切な子供たちは言い争いにならなかったかもしれません。
遺言書は、次世代に残す故人の遺志であり、残された親族間の紛争を未然に防ぐために有用です。ご自身で作成された遺言書を法務局へ預けることで、より安心なものとなります。あなたの大切な遺言書を法務局が守ります。自筆証書遺言書保管制度をぜひご利用ください。

お問い合わせ先

和歌山地方法務局新宮支局
☎ 0735-221-2757（内線3番）

法務局からのお知らせ

ご存じですか、

法定相続情報証明制度

相続手続の簡素化を目的とした制度をご存じでしょうか。
この制度は、戸籍等の書類を添付した申出に対して、法務局の登記官が法定相続人が誰であるかを確認し、証明書を無料で交付するものです。
相続登記のほか、金融機関の預貯金の払い出し等、相続手続全般で利用することができ、これにより各種相続手続で戸籍謄本の束を何度も出し直す必要がなくなります。
詳しい内容についてはお問い合わせください。また、法務局ホームページでもご覧いただく事が出来ます。



お問い合わせ先

和歌山地方法務局新宮支局
☎ 0735-221-2757（内線3番）

新宮公証役場からのお知らせ

公証人の常駐

これまでご不便おかけしましたが、令和3年12月1日から公証人が常駐し、左記の時間帯で、遺言や養育費、各種契約等に関する公正証書の作成及びその相談、私文書や定款の認証、確定日付の付与等に対応します。出張等で一時的に不在の時間もありますので、事前に電話等でお問い合わせの上、ご来場願います。

時間 平日 午前9時から午後5時

場所 新宮市緑ヶ丘2-1-31 カマツカビル3階

電話 0735-211-2344

メール nmt-3212@e-tude.ocn.ne.jp

自衛隊からのお知らせ

自衛官（学生）等の募集

自衛隊候補生

応募資格…18歳以上32歳以下の男女
受付期間…年間通じて行っております
試験日…受付時にお知らせいたします
試験会場…受付時にお知らせいたします。

※就職や転職等をご検討の方は是非お問い合わせください

お問い合わせ先

自衛隊新宮地域事務所（新宮高校正門前）
（TEL 0735-211-3449）

近畿中国森林管理局からのお知らせ

令和4年度国有林モニター募集

国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させるため、国有林モニターを募集します。

任期 令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

対象 和歌山県内にお住まいで、森林・林業及び国有林に関心のある成人の方。ただし、国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員は除きます。

応募締切 令和4年2月1日（火）

詳細

募集の詳細は、近畿中国森林管理局ホームページをご覧ください。「近畿中国森林管理局 国有林モニター」で検索

お問い合わせ先

近畿中国森林管理局 総務企画部
企画調整課 林政推進係
☎ 06-6881-3412



後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

健康診査は令和4年2月末日まで受けることができます。受診券をお持ちの方で、まだ健康診査を受けていない方は、この機会に是非ご自身の健康状態をチェックしましょう。

健康診査のご案内

対象者

75歳以上の方・65歳以上75歳未満で一定の障害があり認定を受けられた方

検査項目

問診・計測、診察、脂質、肝機能、尿、腎機能、代謝系

歯科健康診査のご案内

※対象の方には5月末に受診券等を発送しています。

対象者

令和3年3月末で75歳、80歳、85歳の方と90歳以上の方

検査項目

問診、口腔内検査、口腔機能検査

費用…無料

実施場所…同封する一覧表に記載された医療機関

○受診券等の紛失やご不明な点があれば左記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

和歌山県後期高齢者広域連合
☎ 073-4281-6688

後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度分後期高齢者医療保険料の納付が困難な方へ

新型コロナウイルス感染症の影響により後期高齢者医療保険料の納付が困難になった場合には、徴収猶予や減免の制度がありますので、北山村住民福祉課にご相談ください。

お問い合わせ先

北山村役場住民福祉課
☎ 0735-491-2331
和歌山県後期高齢者広域連合
☎ 073-4281-6688



年金事務所からのお知らせ

**国年 年金相談・お手続きの際は
通信 予約相談をご利用ください。**

ご予約いただく

- ①お客様の都合に合わせてスムーズに相談できます。
- ②相談内容にあったスタッフが事前に準備のうえ対応します。



予約受付専用電話番号

☎ 0570-051-4890

※受付時間

月～金（平日）午前8時30分～午後5時15分

○予約希望日の一か月前から前日まで受付しています。
○ご連絡の際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご準備ください。



広報きたやま
2022 NO.253

発行 北山村役場 総務課
〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼42番地
TEL: 0735-49-2331 FAX: 0735-49-2207

村の人口
1月1日現在
人口 421人 (-1)
世帯数 260戸 (±0)
高齢化率 43.2% ※ () 内は前号比

北山小学校の生徒の版画が表彰されました

先日開催された「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2021 に全国から応募した4,120点の中から北山小学校6年生の岡ころさんと市村亜莉朱さんが見事表彰されましたのでここで紹介させていただきます



文部科学大臣賞

「じゃばらの収穫」

岡 ころ (6年)

審査員からは、じゃばらの収穫を版画で巧みに表現しています。農家さんの真剣なまなざしから、ひとつひとつついでいねいにもぎとっている様子が伝わってきます。と評価されました。

日本政策金融公庫 農林水産事業本部長章

「育生の牧場」

市村 亜莉朱 (6年)

審査員からは、働く人と牛の表情がなんと豊かで力強いことか。と評価されました。



1月11日に村民会館で村長より受章された2名の方に表彰状が贈られました。



広報担当の粹

今年もよろしくお願いします。

あけましておめでとうございます。今年も「広報きたやま」をよろしくお願いします。ここ数年はコロナの影響で大きなイベント等もなく、さみしい状況が続いておりますが、今年こそ村民運動会などの大きなイベントが出来ることを祈っています。今年も、大小かわらずイベントごとには足を運び、いい広報が完成できるようにがんばりますので、何かいい情報などありましたら、教えてもらえると助かります。

(広報担当 橋爪 大希)

